

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(令和4年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	5
岩沼市教育基本方針	5
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	6
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	12
「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業	15
「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	17
IV 学識経験者の意見	19

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて令和 4 年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者 2 名の方から御意見をいただき、あらためて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（令和4年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	百井 崇	(H25.10.1～)
教育長職務代理者	佐藤 雅晴	(H29.10.1～) (委員 H4.10.9～)
委員	小林 修子	(H24.10.9～)
委員	南館 公雄	(H26.11.1～)
委員	氏家 真由美	(R元.10.4～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則（昭和55年教育委員会規則第2号）第4条の規定により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。令和4年度は、12回の会議を開催し、28件の議案を審議し、1件の事案を協議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
令和4年 4月14日(木) 定例会	第12号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
5月19日(木) 定例会	第13号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第14号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第15号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について
	第16号	岩沼市青少年室運営協議会委員の委嘱について
	第17号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
	第18号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
6月16日(木) 定例会	第19号	岩沼市通学路等安全対策推進会議委員の委嘱について
	第20号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第21号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第22号	岩沼市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
	第23号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について
7月5日(火) 持ち回り審議	第24号	令和5年度使用教科用図書採択希望について
7月21日(木) 定例会	第25号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第26号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第27号	令和5年度使用教科用図書の採択について

開催期日・会議	議案番号	内容
8月25日(木) 定例会	第28号	岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和3年度実績）について
9月29日(木) 定例会	第29号	小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
10月20日(木) 定例会		(報告事項のみ)
11月2日(木) 定例会	第30号	令和5年度岩沼市教育費予算（案）について
12月1日(木) 定例会	第31号	教育長職務代理者が教育長の権限に属する事務を行う場合における事務の委任等に関する規則の制定について
令和5年 1月19日(木) 定例会	第1号	学校薬剤師の委嘱について
	第2号	岩沼市教育委員会個人情報保護法施行細則の制定について
	協議	岩沼市教育基本方針及び令和5年度岩沼市教育目標について
2月9日(木) 定例会	第3号	岩沼市教育基本方針及び令和5年度岩沼市教育目標について
	第4号	県費教職員の任免等の内申について
3月9日(木) 定例会	第5号	岩沼市教育委員会行政組織規則の一部改正について
	第6号	岩沼市教育委員会行政組織規則の一部改正に伴う関係規程の整理について
	第7号	岩沼市生涯学習振興基金の処分に関する規則の一部改正について
	第8号	市職員（管理職）の人事異動について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。令和4年度は、2回の会議を開催し、5件の議題について話し合われました。

開催期日	協議事項
令和4年7月21日(木)	令和5年度以降の教育等の振興に関する施策の大綱について
	部活動の地域移行について
令和4年12月1日(木)	令和5年度以降の教育等の振興に関する施策の大綱
	学校教育におけるICT活用の進捗状況
	原遺跡の発掘状況

3 教育機関訪問

毎年、岩沼市内の教育機関及び小中学校を訪問、視察し、教育委員と所属長との意見交換を行っております。令和4年度は次のとおり実施しました。

開催期日	視察先
令和5年1月19日(木)	二木の松 養生状況
	子どものこころのケアハウス「あいるーむ」活動状況
	岩沼北中学校「ほっとルーム」活動状況
	岩沼北中学校「メディアルーム」における授業

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、令和4年度岩沼市教育基本方針の4つの分野における重点目標として掲げた下記の18項目としました。それぞれの実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化の醸成」

「感動と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

令和4年度岩沼市教育重点目標

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 魅力ある教育環境づくり

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 生涯にわたる学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の有効活用
- 7 読書活動の推進

「かおり高い芸術文化の醸成」

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進

「感動と活力あふれるスポーツの振興」

- 1 スポーツ振興の充実
- 2 スポーツ団体活動の支援
- 3 部活動支援事業の充実
- 4 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 5 市内開催の全国的、全県的大会の支援

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導専門監派遣による研修会講話、校内研究支援等)
 - 各種研修会・部会等への教育指導専門監出席回数(講話・助言の実施) 46回
 - 教育指導専門監の学校訪問回数(授業参観指導・校内研究支援等) 70回
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(小学校支援事業)(中学校支援事業)
 - 小中学校指導助手7名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の作成・配付事業)(学力向上推進事業)
 - 家庭学習の手引き:全児童・生徒へPDFで配付
 - 家庭教育のために:新入生保護者へPDFで配付
 - 岩沼学び塾:夏季・冬季休業期間及び放課後実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉記念科学技術奨励事業「科学技術作品展」)
(副読本作成・配付事業「わたしたちの岩沼」「岩沼の自然」)
 - 科学技術作品展:市民図書館にて開催(10月)
 - 「わたしたちの岩沼»:小学3・4年生に配布
 - 「岩沼の自然」デジタル版:岩沼理科学習ポータルサイトへ発展公開中
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(プロポーザル事業、未来へはばたく学校づくり奨励事業、夢あこがれ支援事業等)
 - 小中学校へ計8,301,000円の助成
 - ※未来へはばたく学校づくり奨励事業は、玉浦中学校が千年希望の丘に「玉浦の森」を育てようとして、防災・減災学習を実施した。
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
(ユニーク先生活用事業)
 - 各小中学校の特色を生かし、多様な講師を招聘した授業を展開

- ④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進
 (ユニーク先生活用事業) (志教育及び夢☆あこがれプロジェクト事業)
- 多様な講師を招聘した授業を展開 (地元企業、福祉団体、農業体験等)
 - 劇団四季こころの劇場 ※隔年実施のため、令和5年度に実施予定
 - 西村まさ彦氏 (俳優) による講演 (玉中・11月)
 - 大久保剛志氏 (サッカー選手) による講演 (西小・12月)
 - 大野俊三氏 (トランペッター) による講演 (全中学校・12月)

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
 (総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)
 (岩沼に愛着を持つ人材育成事業)
- 小中学校へ計 8,301,000 円の助成 (再掲)
 - 里山体験学習の開催 (岩小5年生、岩小・玉小・西小・南小1年生)
 - ふるさとの味、はらこ飯を味わおう! の開催 (岩小6年生)
 - 二木の松俳句大会の開催 (小学5年生～中学3年生対象) 出展作品数 2,184 点
- ② 国際理解教育の推進
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実
 (外国語指導助手招致事業)
- 外国語指導助手 (ALT) 6名配置
 - 英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
- 小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催
- ② 若手教員の学びの場の提供
- 初任者研修 1回開催 (12月) ※新型コロナウイルス感染防止対策のため回数減
 - 講師・指導助手研修 3回開催 (4月・8月・10月)
- ③ ICT等教育機器の研修の充実及び専門支援員の活用
- i-Teacher研修会 (チームいわすた研修会) 4回開催
- ④ 職能に応じた研修会の開催
- 教務・研究主任者研修会 9回開催 (教務5回、研究4回)
 - 指導助手研修会 2回開催
 - 講師研修会 1回開催
 - 特別支援教育コーディネーター研修会 2回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進

(教育指導専門監派遣事業)

- 学校訪問において、道德の授業に対する指導助言
- 市教研において、講話及び模擬授業の実施（6月）

(2) いじめ防止対策の推進

- いじめ問題対策推進委員会 2回開催
- いじめ問題対策推進連絡協議会 2回開催
- 岩沼市立学校「教育・いじめ防止フォーラム」オンラインで開催（12月）

(3) 一人ひとりを大切にした生徒指導及び心のケアの充実

(小学校支援事業) (中学校支援事業) (子どもの心のケアハウス運営事業)

- スクールカウンセラーの配置（市内全小中学校）
- スクールソーシャルワーカーの配置（拠点校：岩中）
- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

- 学校防災推進委員会の開催 3回開催
- 岩沼市総合防災訓練の参加（7月）
- 通学路等安全対策推進会議 2回開催

(5) 生活習慣の改善及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施（6月・1月）
- いわぬま食育ウィークの実施（11月）

(6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進

(運動体力向上事業) (部活動支援事業) (小学校保健事業) (中学校保健事業)

- 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業として小中学校に助成
- 各種検診の実施
- 岩沼市学校保健会へ補助 450,000円

(7) 相互理解を図る教育の推進 (コミュニケーション能力の育成、協働で取り組む活動の充実)

- ICT機器を活用しつつ、話し合い活動の仕方を身につけ、自主的・自発的な態度や互いの考えを尊重し合うことを重視した活動実践
- 異学年交流、地域の方やALT、他学校交流等、様々な方々との交流活動

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

(1) 「共に学ぶ」特別支援教育の推進

(特別支援教育総合推進事業)

- 特別支援連携協議会 2回開催(7月・1月)
- コーディネーター等連絡会 2回開催(7月・12月)
- 特別支援教育研修会 1回開催(12月)

(2) 特別支援指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

(小学校支援事業)(中学校支援事業)

- 特別支援指導助手 12名配置
- 特別支援教育支援員 13名配置

(3) 一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

(個別の支援計画及び適切な就学指導)

- 個別の支援計画作成率 100%
- 障害児就学指導審議会 5回開催

(4) 発達障害に関する知識と対応の充実

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

- 社会福祉課と連携した研修会の開催(12月)

4 魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小学校就学環境整備事業)(中学校就学環境整備事業)

- 就学援助費の支給
 - 小学校(合計) 20,537,736円
 - 中学校(合計) 20,184,318円

(2) 児童生徒一人ひとりに対応できるICT教育環境整備の推進

(小学校情報教育推進事業)(中学校情報教育推進事業)

- 統合型校務支援システム本格稼働(令和4年4月～)
- 小学校普通教室にプロジェクターを設置するとともに、黒板を映写兼用黒板に更新(中学校は令和3年度にプロジェクター設置と黒板更新を完了)
- 玉小・西小のメディアルームにBOXツール、中学校の技術教材に3Dプリンタを整備

(3) 外国語指導助手（ALT）活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進

(外国語指導助手招致事業)

- 外国語指導助手（ALT） 6名配置
- 英語教育推進委員会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(4) 小・中学校指導助手、特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置の推進

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

- 小中学校指導助手7名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置

(5) 教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

- 在校時間調査
- ハイシーズンとオフシーズンを意識したメリハリのある部活動
- 学校事務共同実施の効率化

(6) 教育相談体制の充実（不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実）

(小学校支援事業) (中学校支援事業)

- スクールカウンセラー（全小中学校へ配置） 相談回数 3,317回
- スクールソーシャルワーカーを拠点校の岩中へ配置 相談回数 1,054回
- 翌年度就学児童を対象とした就学相談会の実施（8月）

(7) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

(宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業)

- 岩沼学び塾
- 中学校総合体育大会における支援

(8) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

(学校評議員及び地域連携推進事業)

- 学校評議員 32名委嘱
- ふれあいパトロール隊員 81名登録

(姉妹都市高知県南国市訪問団との交流事業)

- 南国市から岩沼市へ訪問 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため
- 岩沼市から南国市へ訪問 10月17日～19日
(児童5名、生徒5名、教員6名、教育委員会事務局職員3名参加)
※南国市立十市小学校と防災学習等の交流活動、南国市内等の観光
- 南国市立十市小学校と玉浦小学校による、オンライン防災学習交流会の実施

(11月)

(9) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実(保護者と共に不登校児童生徒の学校復帰を目指すとともに社会的自立を支援)

(子どもの心のケアハウス運営事業)(児童生徒学校適応指導教室(けやき教室)事業)

○いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置

通所支援、学校訪問支援、教育相談の実施

○岩沼西中学校及び岩沼北中学校に学び支援教室「ほっとルーム」の設置

別室登校生徒に対して専任教員を配置

○仙南けやき教室(白石市)への通所委託

(10) 家庭における学校教育への理解促進

○タブレット端末の持ち帰り学習

○部活動の地域移行について啓発活動、説明会の実施

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内小中学生の罹患者も増加した。しかしながら、これまでの知見を生かし、感染予防対策の徹底やオンライン開催など実施方法を工夫することにより中止することなく事業を展開し、学校教育のさらなる充実に取り組むことができた。

英語教育の環境整備及び国際理解教育の推進のため、外国語指導助手(ALT)を6名配置するとともに、中学校でイングリッシュ・キャンプを開催することで子どもたちの外国語等に対する興味・関心を高めた。

岩沼市「まなびiスクール構想」を推進するため、ICT教育環境整備(小・中学校情報教育推進事業)の一環として、全小・中学校の普通教室の黒板を映写兼用黒板に変更し、黒板全面に映写可能なプロジェクターを設置した。また全校に統合型校務支援システムを導入し、教職員の働き方改革に係る校務のDX化、業務の削減・省力化を図った。

不登校児童生徒に対する支援体制の充実として、岩沼西中学校に加え岩沼北中学校に「ほっとルーム」を新設した。また、いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」では必要に応じて学校に担当者を派遣する取組の充実やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども福祉課との連携強化により、児童生徒の多様な居場所づくりと心のケア・保護者への相談体制づくりに努めた。

さらに個に応じた学習や支援として、指導助手・特別支援教育支援員配置事業、岩沼学び塾を継続実施した。学び塾では、コロナ禍により大学生の協力を見合わせていたが令和4年度から再開し実施した。

これらの取組から「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」は、着実に成果を上げており、事業は概ね順調であると判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催 2回開催(6月・1月)
- 生涯学習振興事業助成金の交付 1団体、6個人 271,000円

2 生涯にわたる学習機会の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催 12名参加
- コラボスクール(里山体験学習)の開催 6回開催
- 電子顕微鏡体験教室(ミクロの世界をのぞいてみよう!)の開催
4日間実施69名参加
- ふるさとの味、はらこ飯を味わおう!の開催(岩小6年生)
- 二木の松俳句大会の開催(小学5年生~中学3年生対象) 出展作品数2,184点
- 「スタンウェイに触れてみよう」の開催 2日間実施

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- 東部のびやか教室の開催 13名参加
- 西部のびやか教室の開催 58名参加
- 南部のびやか教室の開催 36名参加
- 北部のびやか教室の開催 21名参加
- 子育て、親育ち講座 2回開催

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業) (生涯学習推進事業) (成人式開催事業)

- 相談件数 77件
- 街頭巡回指導件数 30件
- 小中高校生への声掛け件数 229件
- 子ども110番の家の設置件数 231カ所
- 少年の主張の開催 8名参加
- 二十歳を祝う会の開催 354名参加
- 青少年健全育成推進団体補助
 - ①岩沼市ジュニア・リーダー協議会 8,000円
 - ②岩沼地区少年補導員協会 11,000円
 - ③健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 284,000円
 - ④岩沼市子ども会育成連合会 7,000円
 - ⑤岩沼市父母教師会連合会 15,000円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

- | | |
|-------------|----------|
| ① 婦人団体連絡協議会 | 81,000 円 |
| ② ガールスカウト | 5,000 円 |
| ③ ボーイスカウト | 5,000 円 |

6 社会教育施設の有効活用

○施設利用状況

	開館日数	利用件数	利用者数	1日平均利用者数
市民会館	345	881	62,493	181
中央公民館	345	1,050	13,682	40

○施設修繕

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ①市民会館・中央公民館 | 修繕費 19,903,085 円 (管理補修事業) |
| ②市民図書館 | 修繕費 606,683 円 |

7 読書活動の推進

(図書館蔵書整備事業) (図書館運営事業)

○利用登録者数：13,884 人 貸出者数：78,526 人 総貸出数：269,833 冊

○入館者数：106,108 人 蔵書数：216,032 冊

○市民図書館運営協議会 2回開催

○読み聞かせボランティアステップアップ講座 107名参加

○初心者向け読み聞かせ研修会 23名参加

○第11回文化講演会 33名参加

○DVD上映会 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○本のリサイクル市 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

○読み聞かせサークルによるおはなし会 (月1回～2回開催)

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、事業内容の変更や細かな感染症防止対策を講じることで、大半の事業を開催することができた。「放課後子ども教室（のびやか教室）」や「里山体験学習」では、学校と連携・協働して、より多くの地域住民の方々に子どもたちの成長を支える活動へ主体的に参加していただいたことによって実施することができた。

また、家庭教育支援チームの活動を支援し、県教育委員会主催の研修会への参加や市内小学校において「子育て親育ち講座」を実施し、学校・家庭・地域の連携・協働による地域全体での家庭教育支援の活性化を図ることができた。今後も「早寝、早起き、朝ごはん運動」の啓発運動など積極的な活動を計画し支援していく。

「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」として実施している「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！」や「二木の松俳句大会」、「ミクロの世界をのぞいてみよう！」においても、多くの市内小中学生が参加し、興味深く取り組み、学習の充実を図ることができた。

青少年健全育成として、子ども会育成事業への支援やジュニア・リーダーの育成支援をはじめ、関係団体との連携しながら、地域コミュニティの振興・発展に努めた。

人口減少やコミュニティの衰退を受けて、住民参画による地域づくりがこれまで以上に求められる中、学校と地域が協働・連携することで、市民の学習環境の整備、学習機会を充実させる取組は、コロナ禍ではあったが、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化の醸成

1 芸術文化活動の推進

(芸術文化振興事業) (生涯学習市民活動支援事業) (中央公民館学級・講座運営事業)
(中央公民館玉浦講座) (中央公民館西講座) (部活動支援事業)

(1) 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 9事業11公演 入場者数延べ3,939人

(2) 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第33回市民文化芸術祭の開催 260人(団体28、個人8人)の参加
2日間で1,343人の来場者

○第42回いわぬま市民交流フェスティバルの開催 601人(団体58)の参加
2日間で2,595人の来場者

○中央公民館学級・講座の開催 13教室385人の参加

○中央公民館玉浦講座の開催 6教室149人の参加

○中央公民館西講座の開催 6教室148人の参加

○社会教育団体登録数 137団体

(3) 部活動支援事業の充実

○文化部活動支援：9種類の楽器の演奏指導(クラリネット、トランペット、
サクソ、フルート、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、
パーカッション)
年間10回開催

2 文化財の保護と活用の推進

(市史編纂事業) (文化財保護事業) (文化財発掘調査事業)

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 2回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第36回~第38回)

○出前授業 4回開催

○文化財めぐり 中止 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため

(2) 文化財や歴史資料の調査と保存・活用

○岩沼市史3巻 通史編Ⅲ 近代・現代の発刊

○岩沼市史11巻 特別編Ⅲ 震災の発刊

○岩沼市史活用事業講演会

(3) 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 9,000円

②早股熊野神楽 9,000円

(4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○開発計画と埋蔵文化財の関わりについての協議書の提出件数 33件

(5) 原遺跡発掘調査の推進

○原遺跡第7次発掘調査及び現地説明会

○文化財講座「原遺跡とは何か～古代交通と岩沼～」の開催

「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業の点検・評価

公民館においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて各種教室・講座を開催することができた。また、多様な社会教育団体に活動の場を提供するとともに、補助金交付等、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて各種イベントをほぼ予定どおり開催することができた。

部活動支援事業では、昨年度に引き続き吹奏楽部員の支援に加え、美術部員の支援も行った。今後も継続した支援を行っていききたい。

文化財保護・活用については、岩沼市史の最終巻となる3巻、11巻を発刊した。また、文化財の発掘調査を行った。特に原遺跡第7次調査においては新たに知見を得た。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

感動と活力あふれるスポーツの振興

1 スポーツ振興の充実

(スポーツ団体育成事業) (保健体育一般管理)

- 学校開放登録団体 ・登録団体数 58 団体
- 夢あこがれ事業：ベガルタ仙台サッカー観戦
(令和4年10月16日開催 ユアテックスタジアム仙台)
 - ・市内小中学生、教員、教育委員会職員 45名参加
- ウォーキング・ジョギングイベント (令和4年12月4日開催)
 - ・いわぬまエアポートマラソンの代替イベントとして開催
 - ・市民190名参加

2 スポーツ団体活動の支援

(スポーツ団体育成事業) (スポーツ顕彰・助成事業)

- スポーツ団体補助
 - ①岩沼市体育協会 770,000 円
 - ②岩沼市スポーツ少年団本部 47,000 円
- 国体出場者報償 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため大会が中止
- 全国障害者スポーツ大会出場者報償 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため大会が中止
- スポーツ振興事業補助 1 団体、34 個人 810,000 円

3 部活動支援事業の充実

(保健体育一般管理)

- 運動部活動支援：拠点型8種目 (バドミントン・陸上競技・卓球・ソフトテニス、バスケットボール、野球、バレーボール・サッカー)
前期 (4月～9月) 88回、後期 (10月～3月) 88回
- 運動部活動支援：派遣型4校5種目 岩中：バドミントン・卓球、西中：バドミントン・剣道、北中：バレーボール、剣道、玉中：バドミントン、野球
前期 (4月～9月) 88回、後期 (10月～3月) 88回
- 部活動の地域移行について啓発活動、説明会の実施

4 スポーツ施設の整備と活用の推進

(スポーツ施設管理事業) (保健体育一般管理)

- 岩沼市総合体育館災害復旧工事 (令和4年6月完成)
- 岩沼市総合体育館外灯修繕 (令和5年3月完成)
- 市長杯総合スポーツ大会の開催
- いわぬまエアポートマラソンの開催 中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

○主な施設の利用人数の推移

	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド
R2年度	51,093	22,377	12,346
R3年度	19,860	27,651	12,578
R4年度	62,519	29,623	15,510

※新型コロナウイルス感染防止対策により、R2年2月29日～R2年5月17日、R3年3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日を全施設閉鎖
※R3年2月13日に発生した福島県沖地震の影響により、地震発生以降、総合体育館のメインアリーナ及びサブアリーナをR4年6月30日まで閉鎖し、改修工事实施

5 市内開催の全国的、全県的大会の支援

(保健体育一般管理)

- 第34回全国高校生銃剣道大会（令和4年7月23日開催 総合体育館）
 - ・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援を行う。
- 令和4年度宮城県高等学校駅伝競走大会
（令和4年10月17日開催 海浜緑地公園北部ブロック周辺コース）
 - ・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援を行う。
 - ・補助金の交付（岩沼市スポーツ・文化振興事業補助金 300,000円）

「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業の点検・評価

令和3年2月に発生した福島県沖地震により総合体育館が大きな被害を受け、災害復旧工事を行ってきたが、令和4年6月に完了し、同年7月からメインアリーナ、サブアリーナの利用を再開することができた。また、総合体育館外灯修繕等、市民が安全に体育施設を利用できるように修繕業務を行うことができた。

第34回全国高校生銃剣道大会や令和4年度宮城県高等学校駅伝競走大会の開催に当たっては、関係各所と連携して計画的に大会運営の支援を行うことができた。

指定管理者制度を活用した市内9つの体育施設の管理運営について、指定管理者による施設整備や市民に対するサービス向上が適切に行われており効果は大きいといえる。また、業務委託をしている部活動支援事業においても、総合体育館を拠点として4中学校合同の指導を行ったり、指導者を各校へ派遣する等、継続的な活動を行うことができた。

今後も指定管理者と連携して市内体育施設の管理・運営に努めていきたい。

市民のスポーツ環境の整備、及び市民がスポーツに親しむ機会の提供に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が令和4年度に実施した主な事務事業の執行状況の「点検・評価報告書」（令和4年度実績）について所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

新型コロナウイルス感染症の拡大のなかにあつて、これまでの知見を活かし、感染予防対策の徹底と実施方法の工夫により各種事業を中止することなく事業を展開し、学校教育の更なる充実に取り組んできたことに敬意を表する。

夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開に岩沼らしい事業が組み込まれていることは素晴らしい。ユニーク先生活用事業や適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進は、地域との一体感や著名人との生きた触れ合いや技能・技術の習得、意欲向上に大きく貢献していると思う。外国語指導助手の6名配置やイングリッシュ・キャンプの開催などは英語教育環境の整備及び国際理解教育の推進に大いに役立っている。ICT教育環境整備として映写兼用黒板の設置、統合型校務支援システムの導入による校務のDX化、業務削減・省力化などは先進的な取組として注目すべきものである。「あいう一む」や「ほっとルーム」の増設や内容充実、SCやSSW、青少年室などの教育相談体制は児童生徒の多様な居場所づくり・支援体制、保護者への相談・支援体制として重要である。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

生涯にわたる学習機会の充実と家庭教育及び幼児教育支援の充実で展開されている、のびやか教室や里山体験学習、はらこ飯体験学習、二木の松俳句大会、スタンウェイに触れてみよう、電子顕微鏡体験教室などは、児童生徒にとって岩沼に愛着と誇りを持つことのできる原体験となっており、地域の先達と学校との協働による活動として定着している素晴らしい活動である。今後より一層の充実発展を望む。図書館での読書活動推進は、読み聞かせボランティアステップアップ講座開催や初心者向け読み聞かせ研修会の開催などを通じ順調に進められている。街頭巡回指導や二十歳を祝う会開催等の青少年健全育成活動や、社会教育施設と市民の学習環境・学習機会の整備充実を図る取組はおおむね順調である。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて、文化・芸術活動への旺盛なニーズを受け止め、各種教室・講座の開催、各施設の機能を活用した生涯学習活動が推進されていた。

中学校部活動支援の一環として、運動部はもとより、吹奏楽部だけでなく美術部にも支援を拡大していることは大変望ましいことである。岩沼市史最終巻となる3巻、11巻の刊

行、原遺跡第7次調査での新たな知見を得るなど大きな成果を出している。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

総合体育館施設内外の各種修繕改修事業が完了し、市民が安全に体育施設を使用できるようになったことは大変喜ばしい。全国高校生銃剣道大会や宮城県高等学校駅伝競走大会を計画的に大会運営できたことは岩沼にとって大変名誉なことである。中学校部活動支援事業、特に運動部活動支援として、競技種目数・開催回数共に充実していた。将来の中学校部活動の地域移行に向けた受け皿の一つとして一層の支援充実を図っていただきたい。指定管理制度を活用し、市民が安全に体育施設を利用できるよう市内体育施設の管理・運営・サービスのより一層の充実を図っていただきたい。

椎名 勝彦 氏(元公立中学校長)

岩沼市教育委員会が令和4年度に実施した主な事務事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

特色ある学校づくりのために、各校のニーズに応じた様々な講師の派遣・予算の確保等、充実した支援を行っていることは素晴らしい。特に、他市町村には見られない教育指導専門監を複数配置し、派遣の回数を大幅に増やし、講話や指導助言を行ったことは、教員の資質向上と子どもたちの学力向上に大いに役立っているものとする。

「家庭学習の手引き」等の PDF による配付や「岩沼の自然」のデジタル版公開等は、ペーパーレス化を図る時宜を得た取組であり、教育予算削減への対応策としても効果的である。

夢あこがれ事業の内容が具体的に記載されたので分かりやすくなった。多彩な人材を招聘して授業や講演を行ったことは、子どもたちの学習意欲を高めるものとする。

「相互理解を図る教育の推進」の新設は、コミュニケーション力を高め、様々な人との交流を通して国際社会で活躍できる人材を育成でき、引きこもり防止にもつながるものとする。

中学校に続き、小学校の普通教室にもプロジェクターと映写兼用黒板を設置したことも大いに評価できる。今後の日常的な授業展開を期待したい。また、中学校技術科の教材として、3D プリンターを整備したことは、附属中学校等以外では船橋市に次ぐトップランナー的的事业で、今後のいろいろな活用が期待できる。統合型校務支援システムやDX化は、これからの生活をより良いものにするためには必須なものと思われる。対応が難しいベテラン教員等への継続的な支援をお願いしたい。

「ほっとルーム」が岩沼西中学校に次いで、岩沼北中学校にも新設できたことは良かった。不登校の実態にもよるが、他の2校にも設定できるものか検討してほしい。

コロナ禍でも、先を見通した実践と工夫をされている教育委員会と各学校に敬意を表したい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

新型コロナウイルス感染防止に苦慮しながらも大半の事業を開催できたことは、大変喜ばしい。今後も、心豊かな指導者確保のために、地域への働きかけと連携に努めてほしい。

「子育て親育ち講座」を立ち上げ、地域全体での家庭教育支援を図ったことも素晴らしい。教育の原点は家庭にあると言われるが、親の指導力が弱くなっている現代において貴重な取組と考える。学校を会場として実施することは、参加者を多くするのに効果的であり、成果が楽しみである。

青少年健全育成推進団体並びに社会教育団体への補助金が軒並み減額されたが、活動

に支障がないか心配である。コロナ禍で事業が無かったり、市の財政も厳しいからだとは思いますが、将来を支える子どもたちの教育には優先的に支援をお願いしたい。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

文化事業や市民文化芸術祭の入場者数が大幅に増え、コロナ前の状況に戻りつつあることは嬉しいことである。関係団体の努力と創意工夫に敬意を表したい。

民俗芸能への補助金が減額されたのも残念であった。コロナが収束し、一般公開等が再開されることを期待したい。

岩沼市史の最終巻が発刊できたことは特筆に値する。岩沼市の文化と歴史を保存するために努力されてきた執筆者と関係者に、改めて敬意を表したい。

原遺跡に関する文化財講座が開催されたことは、市民への啓発と郷土愛の育成に効果的であると思われる。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

指定管理者と連携して、良好に運営・修繕等を行っていることは大変好ましい。休館時等に体育館職員自ら除草や修繕を行ったとのこと、立派である。ハード面の充実と並行して、利用者の声も反映した管理運営に今後も尽力してほしい。

3年間の宮城県高等学校駅伝競走大会が無事終わって良かった。岩沼の平坦なコースと関係団体の協力は、優勝した仙台育英学園高等学校の好タイムの一助となったと思われる。

部活動の地域移行については、保護者の理解と、体育協会・大学等の関係団体の協力が必要である。連携を密にしながら進めてほしい。

部活動支援については、他地区より少ないと言われる中学校部活動日数を補い、生涯スポーツの礎とするためにも、さらなる指導者の確保・充実をお願いしたい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和4年度実績）

令和5年8月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 学校教育課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-23-0719 FAX 0223-24-0897

メール gakkou@city.iwanuma.miyagi.jp